

2021 ~ 2022 年度国際ロータリーのテーマ

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

● 会長 吉田 嘉昭
● 幹事 松岡 泰光



※例会日 毎週水曜日 12:30~

※例会場 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内

※事務局 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内 TEL 354-4521 FAX 354-4053

 ※ URL <http://www.serc2720.org> ※ email serc@serc2720.org

No.1772 令和 04 年 05 月 11 日 第 38 回例会



点鐘

国歌斉唱「君が代」

ロータリーソング「四つのテスト」

5月誕生祝い

5月誕生祝

お誕生日
おめでとうございます

【会員】
宮川 義行 会員 5月10日
川崎 直樹 会員 5月22日
渡邊俊一郎 会員 5月10日

【配偶者】
小畑 賀美 様 5月3日
武東 実業 様 5月13日
前田 良子 様 5月28日
白木 喜世 様 5月29日
吉田 三恵 様 5月29日



新会員入会式



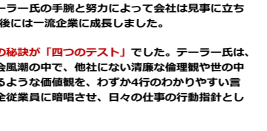
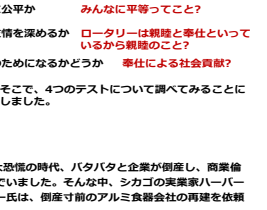
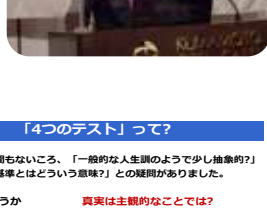
小竹 誠 会員

会長の時間 (会長 吉田嘉昭)

「4つのテストとその解釈」

会長の時間
4つのテストと
その解釈
2022年 5月11日
会長 吉田 嘉昭

4つのテストの由来
創業者 ハーバート・テラー
シカゴロータリークラブ
1954-55年度 RI 会長
1943年 RI 理事会は「四つのテスト」
を正式に採択
1954年 RI 会長就任に際して、「四
つのテスト」の権利を RI に
無償で譲渡



従業員たちはお客や取引先と接するとき、4つのテストを唱えながら仕事に励みました。相手は聞き、感動し、信頼し、そして次の仕事も依頼しました。こうして、次第に大きな成功につながっていききました。

実績のある行動規範(社・社訓でもある)

以来、「四つのテスト」は、ロータリークラブの職業奉仕の理念を端的に表すものとして、世界中のクラブで提唱されています。



4つのテストの解釈

田中 毅 2680地区バスタカバナー(尼崎西RC)の新解釈
この四つのテストは、決して事業の倫理基準や商道徳を定めることを目的に作られたものではなく、顧客の危機に瀕していた調理器具メーカーを再建させるために作られた、極めて現実的な基準だということだ。

四つのテストはあくまでも商取引にのみ適用するように作られた基準であることを忘れてはなりません。商取引はシビアなものですから、それを厳密に判定する基準が必要ですが、一般の生活に弊や希望を与えるためにつくさざやかなは、人生の潤滑油として必要不可欠なものです。



Is it the truth? 真実かどうか

商取引において、商品の品質、納期、契約条件などに偽りがないかどうかは、非常に大切な基準です。

真実というのは、「80%の真実」という言葉が示すように、人間の心を通じたアナログ的な判定であるに対して、事実とはその事実があったのか、無かったのかの二者択一を迫るデジタル的な判定です。



事実かどうか

Will it build goodwill and better friendship? 好意と友情を深めるか

goodwill は評判する好意とか善意を表す言葉ではなく、商取引の信用とか評判を表すと共に、店のれんや取引先を表します。

すなわち、その商取引が店の信用を高めると同時に、よりよい人間関係を築き上げて、取引先を増やすかどうかを問うものです。



信用を高め、取引先をふやすか

4つのテストの解釈の比較

日本のロータリー	2680地区バスタカバナー	日航 RC	シカゴクラブ	新解釈バスタカバナー
代表者	田中 毅 氏	杉原 昌 氏	山本正吉 氏	山本正吉 氏
真実かどうか	真実かどうか	嘘・偽りがないか	偽っていないかどうか	偽っていないかどうか
みんなに公平か	すべての取引先に対して公平か	関係者すべてに公平か	公平にならないかどうか	公平にならないかどうか
好意と友情を深めるか	信用を高め、取引先をふやすか	信用を高め、より良い関係を築けるか	相手の信頼を築けるか	相手の信頼を築けるか
みんなのためになるかどうか	すべての取引先に利益をもたらすか	関係者すべてに利益をもたらすか	関係者すべてに利益をもたらすか	関係者すべてに利益をもたらすか



幹事報告 (幹事 松岡泰光)

来isan案内

- 1) 大森克磨 ガバナー、永田壮一 危機管理委員長より、コロナ感染対策の徹底のお願い第2信と地区大会開催現状報告について。
- 2) 地区ローターアクトより、第37回地区ローターアクト研修会の案内。

4つのテストの翻訳



1954年 現行の「四つのテスト」は、東京クラブの本田親男氏が翻訳し、採択
以来、日本人ロータリアンが座右の銘として親しんだ名訳です。



その一方で、ハーバート・テラーがこのフレーズを作った意図が完全に翻訳に反映されているか否かについて、疑義を抱いている人も多いようです。



Four-way test 四つのテスト

「事業を繁栄に導くための四通りの基準」ならば、当然 Four-way tests と複数形になるはずですが、これが単数形であるのは、事業を繁栄に導くためには、四通りの基準の一つずつクリアすればいいのではなく、四つとも満たす一つの基準として、そのすべてをクリアしなければならないことを意味します。ロータリーの目的が Object of Rotary と単数形であり、四つの項目が渾然一体となって、一つの目的を形作っているのと同様です。



Is it fair to all concerned? みんなに公平か

fair と all concerned という言葉の翻訳に問題があります。fair は公平ではなく公正と訳すべきでしょう。公平とは平等分配を意味するので、例えば、贈収贈得でた unfair 不正なお金でも平等に分ければ、それでよいことになります。all concerned は all だけでなく、肝心の concerned が省略されています。

冒頭に述べたように四つのテストは「商取引」の基準として定めた文章ですから、この concerned (関わりのある人、関係する人) は「取引先」のことを意味することは明白です。



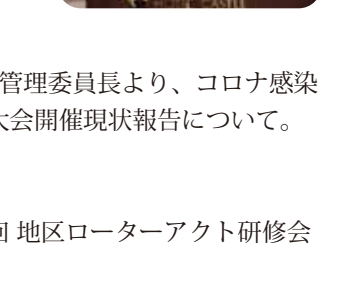
すべての取引先に対して公正か

Will it be beneficial to all concerned? みんなのためにになるかどうか

Benefit は「儲け」そのものを表す言葉です。商取引において適正な利益を追求することは当然なことであり、決して許すべきことではありません。ただし、売り手が儲けた。また買い手が儲けた。儲けたのでは公正な取引とは言えません。その商取引によって、すべての取引先が適正な利益を得るかどうかが問題なのです。



すべての取引先に利益をもたらすか



日時 2022年6月11日(土)・12(日)

場所 津久見市民会館(大分県津久見市)

3) 大森克磨 ガバナー、硯川昭一 2020～21 ガバナーより、くまもと復興映画祭 球磨川特別編ご参加のお願い。

日時 2022年5月22日(日)

開場 9:30、開演 10:30

場所 メイン会場:人吉市カルチャーパレス

サブ会場:八代市坂本町さかもと復興商店街/球磨村 さくらドーム/芦北町ゆめもやい

※チケットに関しましては、各会場の自治体のホームページをご覧ください。

■クラブより

1) 本日例会終了後に第11回定例理事会が開催されます。

今後の行事

5月13日(金) ～ 5月14日(土)	地区大会	大分県 大分市	ホルトホール大分
5月15日(日)	会員増強・維持 セミナー	大分県 大分市	ホルトホール大分 山田公也、中島祐爾
6月11日(土) ～ 6月12日(日)	地区ロータリーアーク ト研修会	津久見市	津久見市民会館

■ロータリーの友5月号紹介

(会報・雑誌担当委員 沼田敏雄)

※5月は青少年奉仕月間です。



●左側ページ横書きから……

1. 表紙の説明 (P19)

◎5月は青少年奉仕月間…と云う事で、特集記事が掲載されています。

2.

P7 ・若年化する薬物ハンデミックについて

・若者の間で急増する大麻の乱用について

P13 ・P8～P9には乱用される薬物の種類記事あり。

・若者の薬物乱用に持った

●右側ページ縦書き

P4 低年齢化する子どものメディア漬け!“2歳児問題”

・2歳にさかのぼる。

・スマホが2歳児に与える影響。

・子どもの脳の発達は大人の責任。

P8 ・メディアテラシーより大切なこと。

この記事は私共も、そして小さい子供をお持ちの親さんには、ぜひ読んで貰い
子供さんの成長に役立てて欲しいと思います。

■委員会報告

(青少年奉仕担当 宮川義行)

昨日は、中央公民館でアクト5月第1例会が行われました。メインは小畑会員の卓話でした。「ロータリー国際大会の魅力・参加の意義について」と「熊本東南ロータリークラブ国際奉仕ウクライナ難民支



援物資報告」の資料を作ってきて頂き、主に国際活動について話してもらいました。旅行会社を運営されている小畑さんにしか話せない臨場感あふれる卓話だったとの感想をもらいました。小畑さんありがとうございました。

出席者は、櫻井会長、馬氷幹事、宮田次期会長、森君、雪田君、中上さん、李さんの7名。ロータリーからは小畑さんと私の2名でした。

5月22日は波野高原やすらぎ交流館で、留学生交流会が開催されます。アクトからは櫻井会長と森会員が参加、東南ロータリーからは私も参加します。

5月第2例会は5月24日19時から予定されています。皆さんの参加をお待ちしています。

■地区大会参加について

(小畑成司 会員)



■出席報告(出席・プログラム担当 松田和成)

月日	会員数	出席者数	MU	修正出席者数	出席率(%)
04月20日	43 (免4) 39	29	3	32	82.05
04月27日	43 (免3) 40	26	6	32	80.00
05月11日	44 (免4) 40	30 (Zoom2)			75.00

☆新入会

05月11日 小竹 誠

☆出席免除

04月20日

住江正治 島村徹男 志賀重人

古庄浩二

04月27日

住江正治 島村徹男 志賀重人

05月11日

住江正治 島村徹男 志賀重人 古庄浩二

☆欠席者

04月20日(7名)

川崎直樹 前田日出夫 小野川善久 白石 繁 矢野敬之

吉永陽三 潮谷愛一

04月27日(8名)

川崎直樹 前田日出夫 小野川善久 白石 繁 堤 勝也

山坂哲生 矢野敬之 吉永陽三



■スマイル報告

(親睦・スマイル担当委員 片岡貞志)



◎横山佳之 5,000円

小竹君の入会を祝しましてスマイルします。





◎前田日出夫 5,000円
久しぶりのホームクラブ出席です。ご心配ご迷惑おかけしました。また結婚記念日のお花ありがとうございました。今日は鈴木会員の卓話楽しみにしています。



◎中島祐爾 5,000円
小竹会員の入会歓迎します。見かけによらず真面目な人柄です。みなさん宜しくお願いします。



◎武末直大 5,000円
久しぶりの出席となりました。それと誕生祝いありがとうございました。



◎渡邊俊一郎 5,000円
誕生祝いありがとうございました。昨日誕生日でした。42歳になりました。ロータリー1年目ですけど楽しんでいきたいと思っています。今週の地区大会も参加いたします。



◎吉田嘉昭 3,000円
小竹誠様、入会おめでとうございます。ようこそ熊本東南ロータリークラブに！



◎福井学 3,000円
小竹誠君の入会を歓迎します。それと本日の鈴木会員の卓話、とても楽しみにしています。



◎草村安宏 2,000円
小竹さんの入会を歓迎いたします。今からロータリーライフを楽しんでください。



◎小竹誠 2,000円
本日から熊本東南ロータリークラブに入会させていただきます。宜しくお願いします。



◎宮川義行 1,000円
ゴールデンウィークも終わり、梅雨が近づいてきました。雨も多くなっていますが、コロナの数もなかなか減らないですね。私の周りでも5人陽性で入院しています。インフルエンザと変わらないと思っていたけど全然違う。解熱剤飲んでも熱が下がらないし倦怠感がずっと続いていた、と言っていました。幸い、全員快方に向かっていて、一安心ですが、用心して、マスク着用、手洗いは当分続けないといいですね。歯ブラシ、ポーランドに届いてほんと良かったですね。皆さん、お疲れ様でした。

■卓話 (パスト会長 鈴木義親)

「熊本東南ロータリークラブについて」



5月11日例会において30分の卓話を行うよう指示されました。創立会員メンバー35名で1984年4月4日に設立されましたが、現在創立会員(チャーターメンバー)は私と沼田会員2名となっていました。まもなく40周年を迎えるにあたり、創立時から10周年までのロータリー活動、苦労話等を紹介してまいりたいと存じます。

本日は

- ・私自身の自己紹介(経歴)
- ・ロータリー入会からの10年間の歩みと経歴
- ・ロータリー情報「ロータリーについて」過去の情報担当委員長のロータリーについての解説
- ・40周年記念式典の取り組み方

以上を予定しておりましたが、時間不足のため今後情報の時間を利用して、会員皆さまに案内してまいりたいと思っております。

■点鐘

(編集者 沼田敏雄)

広島が家族がロータリーを通じてウクライナを支援

投稿日: 5月4, 2022

寄稿者: エレナ・ボンダレンコ (平石)



私は、ウクライナ東部のドニプロという都市で育ちました。父はウクライナ人、母はロシア人です。留学のため21歳で来日し、広島市内の会社に勤めました。広島西南ロータリークラブ会員である夫・雅史と出会って、今では10代の息子3人を育てています。夫を通じてロータリーについて知り、7年ほど前にベトナムに赴いてロータリーの孤児院支援活動にも参加しました。

2年前から、末の息子のバイオリン留学のためドイツに住んでいます。ウクライナでの恐ろしい戦争が勃発したのは、2月下旬に日本に一時帰国していたときです。ウクライナの親せきや親友たちのことを考えると心配でたまりませんでした。キーウやドニプロだけでなく、マリウポリとドネツクから脱出できずにいる知り合いもいます。

ウクライナの親戚に電話したところ、ドニプロ近くの安全な地域に住んでいるところが、病院や避難者・負傷者のための医療物資を集めていることを知りました。紛争から逃れてきた避難民が次々とドニプロに流れ込み、患者であふれ返る病院は医療物資を切実に必要としていました。

第2710地区ガバナーである杉川聡さんのお声がけでロータリークラブでスピーチを行い、人道的援助を呼びかけました。これらのロータリークラブは既にウクライナのために募金やロータリー財団への寄付を行っていました。

毎日大勢の人が命を落とし、状況が日に日に悪化する中、私は、支援を必要とする人たちに迅速かつ直接に支援を届けたいと思い、ウクライナのロータリークラブに連絡を取ってみることにしまし

た。日本の複数のロータリークラブからも、ウクライナ語がわかる私や親戚に現地のロータリーリーダーとの窓口となり、具体的にどのような支援が必要とされているのかを尋ねてほしいと頼まれました。

ウクライナのウォロディミル・ボンダレンコ地区ガバナーと連絡がつながり、広島ロータリーからの質問を伝えました。また、ドニプロにいたるところが現地のロータリークラブに入会できないかと尋ねました。会員になればロータリーの救援活動に参加できるようになると思ったからです。状況の緊急さを理解したボンダレンコ地区ガバナーは、すぐにいこをキーウ・マルチナショナル・ロータリークラブに紹介してくれました。

いこは今、ロータリークラブ会員としてドニプロで活動しています。

私は以前から、広島で親子のための室内楽コンサートを時々催していましたが、今回は急遽、ウクライナ支援のためのチャリティコンサートとし、バイオリニストの息子と、その友人であるピアニストの岡野純大さんが演奏することになりました。馴染みのあるクラシック音楽の曲を披露し、これまでの収益はロータリークラブを通じてウクライナ支援のために寄付しました。

3月の当初、200人以上の方が関心を寄せてくれましたが、新型コロナウイルスの規制により、コンサートの入場者は1回50人までに制限されました。そのため、4月にもっと大きな会場で再度コンサートを開催し、さらに大勢の方に来ていただくことができました。これまでに9回のコンサートを行い（4月22日時点）、4月30日と5月8日にも開催を予定しています。現在までに約120万円の収益があり、全11回のコンサートの総来場者は約1,000人になると予想しています。

現地の人に直接資金をいち早く届けたいと思い、1回のコンサートが終わるごとに収益をいこに送り、現地のロータリークラブを通じて、手術を受けた人たちの食料・薬・衣服や、避難民のためのマットレスなどの購入費に充てられました。また、ウクライナで医薬品不足が深刻となっているため、ドイツで医療物資を購入してウクライナ東部に送ることも考えています。資金が現地でどのように活用されている

かは、定期的に報告が届いています。

音楽とは、国を問わず誰でも理解できる共通言語だと思います。コンサートの前、息子は「平和の祈りを込めて弾く」と言っていました。

この戦争をどう終わらせるか、被災者たちをどう助けられるか。それだけをずっと考えています。ロシア人とウクライナ人の両方の血を引く私は、ロシア人とウクライナ人は兄弟のようなものであり、平和の中で支え合って生きていくべきだと信じています。

がん患者とのファッションショーで実感：ローターアクト入会の価値
投稿日：4月29日, 2022

寄稿者：マリア・バレンティーナ・マルティネス・ペロ
(Ing. Boris Walter ローターアクトクラブ会員)

私は、ベネズエラのローターアクトクラブ会員です。この8年間、ローターアクトを通じて、自分自身、そして人びとの生活をより良くするための奉仕プロジェクトを行ってきました。



このプロジェクト (Rotaract Juntos por una VIDA Color de Rosa) では、10月の1カ月間を乳がん患者のための奉仕に捧げ、以下4つの目標に取り組みます。

1. 講演を通じて認識を高める。
2. 美容室から髪の寄贈を集める。
3. バザーを開催し、検査、薬、治療のための資金を集める。
4. 10月末にファッションショーを開催する（がん患者の方がモデルとなり、地元デザイナーの服を披露します）。

現在、私はこのプロジェクトの指揮を執っているほか、歯科医師としての専門性を生かして、化学療法や放射線療法を受ける人びとのための専門歯科医療ユニットを通じた患者のケアに取り組んでいます。

ローターアクトは自分の才能を人のために生かす機会

私にとって「才能を生かす」とは、心を喜びで満たすこと、そして目的を持って人生を送ることです。私たち一人ひとりの才能が大切なのは、それが唯一無二の、自分だけのものだからです。私は、自分の才能を生かして世界のニーズに取り組めることを、ローターアクトで発見しました。今では、人類への奉仕にベストを尽くすことが私の情熱です。

私は常に、創造性を最大限に発揮してイベントを企画し、人びとに最高の体験を提供することに熱意を傾けてきました。熱い思いがあればこそ才能が開花し、最も高いレベルで躍動できる瞬間が生まれます。そんな瞬間をとらえ、人びとの人生にも変化をもたらせるようになったのが、ローターアクトを通じたプロジェクトでした。

がん患者の方たちとのファッションショーなんて想像もしていませんでしたが、今ではクラブの一大イベントとなり、がん闘う方たちからも大きな期待が寄せられています。患者が主役となるこのファッションショーでは、1年間を「診断の秋」「治療の冬」「復帰の春」「治癒の夏」と表現した斬新なコンセプトを採用しています。ステージは患者にとっての癒しの空間であり、経験を分かち合う場となります。

また、このプロジェクトはがん患者のエンパワメントにもつながっています。患者の方はモデルとしてのスキルや自信をつけるためのレッスンを通じて、自尊心や自己肯定感を抱くようになります。さらに、患者さん一人ひとりが、がんにも苦しむほかの人たちを支えるリーダーへと変わっていき、支援の土台とつながりが形成されます。

ローターアクトは最高の経験が得られる場所

私は、自分の得意なことや好きなことを組み合わせ、クラブの財産とすることに力を入れてきました。そのおかげで、信じられないような特別な経験をし、人として成長することができました。自分の才能を通じてローターアクトとつながり、その絆が断たれることはありませんでした。私のようにローターアクトに留まる人は、自分が探しているもの、つまり人生の目的を見つけることができるから、そうするのだと思います。

ロータリーボイスより